

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】平成27年7月30日(2015.7.30)

【公表番号】特表2014-515975(P2014-515975A)  
 【公表日】平成26年7月7日(2014.7.7)  
 【年通号数】公開・登録公報2014-036  
 【出願番号】特願2014-514595(P2014-514595)  
 【国際特許分類】

A 6 1 G 7/05 (2006.01)

A 6 1 G 5/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 G 7/04

A 6 1 G 5/02 5 0 6

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月8日(2015.6.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

体重受け面の複数の織り合わされた支持要素の有効長を使用者の生体構造の輪郭に適合するように調整するための装置であって、前記体重受け面は、前記複数の織り合わされた支持要素が接続されているフレームを覆い、

前記複数の織り合わされた支持要素のうちの一つに接続された調整機構を含み、前記調整機構は、前記フレームに取り付けられるか、または、着脱可能に取り付けられており、前記調整機構は、接続されている前記織り合わされた支持要素の前記有効長を変化させるために要求される力の大きさを制御する引張り部材を含み、

使用者が前記体重受け面にのしかかる際に、前記調整機構は、接続されている前記織り合わされた支持要素の前記有効長を変更することを可能にし、これにより、前記体重受け面を前記使用者の生体構造の前記輪郭に適合させる、装置。

【請求項2】

接続されている前記織り合わされた支持要素の前記有効長を変化させるために要求される前記力の大きさを可変とするように前記引張り部材が調整可能である、請求項1に記載の装置。

【請求項3】

前記引張り部材は、ばねまたは摩擦板を含む、請求項1に記載の装置。

【請求項4】

前記体重受け面は、複数の横方向の織り合わされた支持要素と複数の縦方向の織り合わされた支持要素とを含み、複数の第1の調整機構は、前記複数の横方向の織り合わされた支持要素の少なくとも一部に接続され、前記装置は、前記複数の縦方向の織り合わされた支持要素の少なくとも一部に接続された複数の第2の調整機構を更に含む、請求項1に記載の装置。

【請求項5】

使用者が体重受け面にのしかかる際に、接続されている前記織り合わされた支持要素の前記有効長が増加し、前記調整機構は、一方向機構またはロックを含み、前記一方向機構またはロックは、増加した前記有効長を維持する、請求項1に記載の装置。

## 【請求項 6】

シャシーに取り付けられる複数の調整機構を含み、前記複数の調整機構が前記シャシーを介して前記フレームに着脱可能に取り付けられるように、前記シャシーが前記フレームに着脱可能に取り付けられている、請求項 1 に記載の装置。

## 【請求項 7】

接続されている前記織り合わされた支持要素に対応するエンコーダーを更に含み、前記エンコーダーは、接続されている前記織り合わされた支持要素の前記有効長に関連付けられた情報を提供する、請求項 1 に記載の装置。

## 【請求項 8】

接続されている前記織り合わされた支持要素に対応する可視の長さ目盛りを更に備え、前記目盛りは、接続されている前記織り合わされた支持要素の前記有効長に関連付けられた情報を提供する、請求項 1 に記載の装置。

## 【請求項 9】

前記体重受け面の輪郭に関連付けられた情報を提供するスキャナを更に備える、請求項 1 に記載の装置。

## 【請求項 10】

前記調整機構は、接続されている前記織り合わされた支持要素の前記有効長の変化に関連付けられた可聴信号を生成する、請求項 1 に記載の装置。

## 【請求項 11】

前記調整機構は、接続されている前記織り合わされた支持要素の端に取り付けられる回転ドラムを更に含む、請求項 1 に記載の装置。

## 【請求項 12】

前記回転ドラムは、前記回転ドラムの回転を制御するラップスプリングを更に含む、請求項 11 に記載の装置。

## 【請求項 13】

振動機を更に含む請求項 1 に記載の装置。

## 【請求項 14】

コンピューターを更に含み、

前記調整機構はアクチュエータであり、

前記コンピューターが、前記アクチュエータを制御することにより、接続されている前記織り合わされた支持要素の前記有効長の変化を指令するように構成されている、請求項 1 に記載の装置。

## 【請求項 15】

体重受け面の複数の織り合わされた支持要素の少なくとも一部の有効長を使用者の生体構造の輪郭に適合するように調整するための方法であって、

複数の前記織り合わされた支持要素のうちの一つに接続された調整機構を提供することと、

前記体重受け面の上に使用者を配置することと、

前記調整機構が、前記体重受け面にのしかかる前記使用者の体重に応じて接続されている前記織り合わされた支持要素の前記有効長を変更することを可能にすることと、

前記使用者と前記体重受け面との間に圧力センサーを配置することと、

前記圧力センサーから情報を受信することと、

前記圧力センサーから受信した前記情報に応じて接続されている前記織り合わされた支持要素の前記有効長を調整することと  
を含む方法。

## 【請求項 16】

前記調整機構は、前記体重受け面にのしかかる前記使用者の体重に応じて、接続されている前記織り合わされた支持要素の前記有効長を変えた後、接続されている前記織り合わされた支持要素の前記有効長を更に変えることを含む、請求項 15 に記載の方法。

## 【請求項 17】

前記調整機構は、接続されている前記織り合わされた支持要素の前記有効長を変えるために要求される力の大きさを制御する引張り部材を含んでおり、

前記方法は、要求される前記力の大きさを調整することを更に含む、請求項 1 5 に記載の方法。

【請求項 1 8】

前記体重受け面の輪郭に関する複数の寸法を取得することを更に含む、請求項 1 5 に記載の方法。

【請求項 1 9】

複数の前記織り合わされた支持要素の少なくとも一部の前記有効長が前記体重受け面にのしかかる前記使用者の体重に応じて変化した後、前記体重受け面から前記使用者を移動させることと、

前記体重受け面の上にキャスト要素を配置することと、

前記キャスト要素の上に前記使用者を配置することと、

前記キャスト要素を硬化させることにより、体重支持条件下での前記体重受け面の型印象を提供することを更に含む、請求項 1 5 に記載の方法。

【請求項 2 0】

作業者が前記体重受け面の下側を確認することを更に含む、請求項 1 5 に記載の方法。